

第 13 回 協議会資料

第１回 青葉通エリアフォーラムの開催報告

開催目的

(仮称) 青葉通エリア空間構想の策定に向けた取組みの一環として、
青葉通エリアに関わる関係者の皆様をはじめとした市民の方々を対象に、
空間構想策定の目的や内容等に関する共通認識の形成、理解の深化を図るため。

概要

日時 2月3日(火) 18時～20時

会場 WeWork JR仙台イーストゲートビル

参加人数：45名＋WeWork会員

プログラム

基調講演

人口減少時代における仙台の可能性

藻谷浩介氏 地域エコノミスト、(株)日本総合研究所 主席研究員、
ほか兼職多数



報告

青葉通エリアの価値向上に向けた検討状況 ～コンセプトのとりまとめに向けて～

パネルディスカッション

青葉通エリアの可能性を探る

【登壇者】 ●藻谷浩介氏 ●小林洋平(青葉通まちづくり協議会)
●半田綾子(仙台市都心まちづくり課) ●後藤太一(リージョンワークス)
●武藤槇子(モデレーター)

開催状況



発信状況

仙台・青葉通エリアの可能性を探る意見交換会

2/4 (水) 11:45 # 県内 # 宮城県 # 仙台市

2月4日 東日本放送



<https://www.khb-tv.co.jp/news/16330570>

まとめ (開催レポート・グラフィックレコード)

資料2をご覧ください

当該内容は、
webサイトAOBA DORI MOVE
にも掲載しております。

<https://aoba-dori-move.com/2026/03/16/post-858/>



青葉通エリアのコンセプト案と
目指す将来像が実現した際の情景（人々の活動、目指す空間像）イラスト案について

Ⅰ. 「青葉通エリア空間構想」について（おさらい）

検討の背景

- ・ 駅前2街区の開発が停滞しており、「本市の顔」である駅前エリアの魅力向上は喫緊の課題
- ・ 一方、青葉通エリアでは、読売仙台ビル等民間開発の動きも見られる
- ・ 市としては、道路空間再構成（駅前通～東二番丁通）の検討が必要

こうした課題は、駅前エリアのみの視点で検討しうるものではなく、
青葉通エリア全体としてどのような価値の創出を目指すのか、公民が一体となって検討する必要がある。

策定の目的

- ・ このような検討背景のもと、「シンボルロードである青葉通」「仙台の顔である仙台駅前エリア」の形成に向け、
公民が共通のビジョンをもってまちづくりに取り組むための指針として、
本市と青葉通まちづくり協議会との連携により「（仮称）青葉通エリア空間構想」を策定する。

空間構想の内容

- ① エリアで目指す将来像（まちづくりコンセプトの整理及びイラストやパースによる可視化）
- ② まちづくりのコンセプトを実現するための3項目
 - ・ 沿道開発：都市機能誘導と低層部の設えに関する考え方
 - ・ 道路空間再構成：道路再整備方針(基本設計)につながる大枠の方針(基本計画に相当する内容)
 - ・ エリアマネジメント：公民連携による事業メニューや仕組み、体制の方針

2. 空間構想策定スケジュールと今年度の成果イメージ（おさらい）

今年度の成果を発信（この後ご説明）

R7年度内

9～11月	12～1月	2月	2～4月	4月	4～10月	11～1月	2～3月
検討	検討	発信	検討	発信	検討・まとめ	発信	まとめ
- データに基づく青葉通の分析 - 高めたい、つくりたい価値の議論	まちづくりのコンセプト	市民向けフォーラム検討状況を発信（青葉通の分析、コンセプトの検討状況・過程等）	目指す情景↓イラスト化	市民向けフォーラム検討状況を発信（情景イラスト・コンセプト案等）	- 道路空間再構成の基本計画 - 沿道開発への都市機能誘導、沿道建物低層部の設え等 - 公民連携によるエリアマネジメント ※イラストやパースも用いて表現	- 市民向けフォーラム空間構想の中間案を発信 - パブリックコメント	とりまとめ、策定

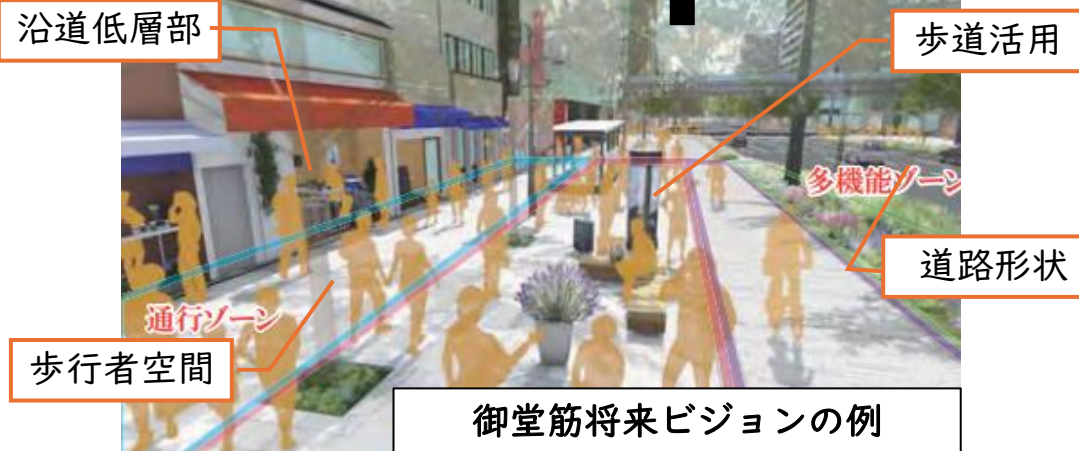
R7年度末の成果イメージ

渋谷での事例

「メディア」を軸に、NHKの周辺に多様な担い手が交流し、新たなコンテンツや事業が生まれ続けているエリア



R8年度末に示すパースイメージ



3. 本日の報告内容と意見交換のテーマ

①【報告】まちづくりのコンセプトについて（エリア全体・小エリア）

- ・第12回あり方検討協議会等での意見等を踏まえたコンセプト案を提示します。

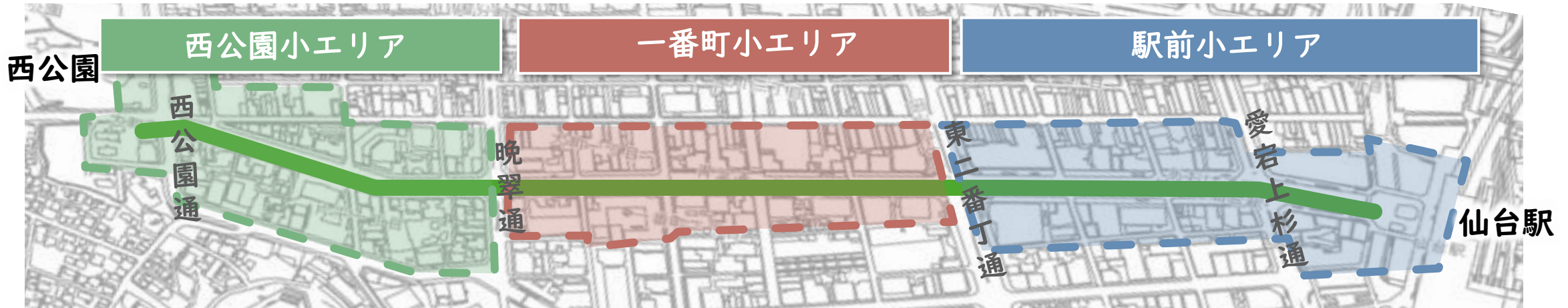
②【意見交換】情景イラストとキャプションについて

- ・イラスト全体の取りまとめ方（全体の見せ方）について、分かりやすさやインパクトに関するアイデア等について、ご意見ををお願いします。
- ・各イラスト及びキャプションについて、さらに盛り込むべき要素（人物の属性・活動・空間の使われ方）があれば、ご意見ををお願いします。

※ご意見への対応については、現在のイラストへの要素の追加や修正等で対応することを想定しております。

※本日の線画イラストにご意見を反映させ、着色し、4月のフォーラムでお披露目予定です。

○ 青葉通エリア



4. コンセプト案

「杜の都」に象徴される「ひとの手で大切なものを未来へ繋いできた精神」を受け継ぎ、
青葉通を、仙台駅から青葉山への「ひとの活動をつなぐ背骨」として、
世界につながる新しい価値と活動を生み出すエリアへ

「杜の都」を未来へつなぐ

「森の都」を「杜の都」にしてきた
歴史の中で育まれた
「ひとの手で大切なものを未来に繋ぐ精神」
を持って、杜の都を革新する。

コンセプト案に込めた3つの意味

交流と共創を高める

「世界とつながる玄関口」仙台駅から、
ビジネス・商業・暮らしが連なりながら、
文化・学術・観光の拠点である
「仙台のはじまりの地」青葉山へと続く
唯一無二の都市軸。この青葉通を
「ひとの活動をつなぐ背骨」として、
都市全体の交流と共創を高めていく。

世界につながる新しい価値と活動を生み出す

金融・学術・研究・観光などのポテンシャルを接続し、
産学官民の共創や多様な主体の交流を促すことにより、
青葉通エリアは、世界につながる新しい価値と活動を生み出すエリアへと進化することを目指す。

各小エリアで創出したい価値とコンセプト

西公園小エリア

ライフスタイルの価値

都市と自然・文化が共存する
都心型ライフスタイルを創造するエリア

一番町小エリア

交流・共創の価値

仙台都心の多様な活動を掛け合わせ、
共創を生み出すセントラルエリア

駅前小エリア

ゲートウェイの価値

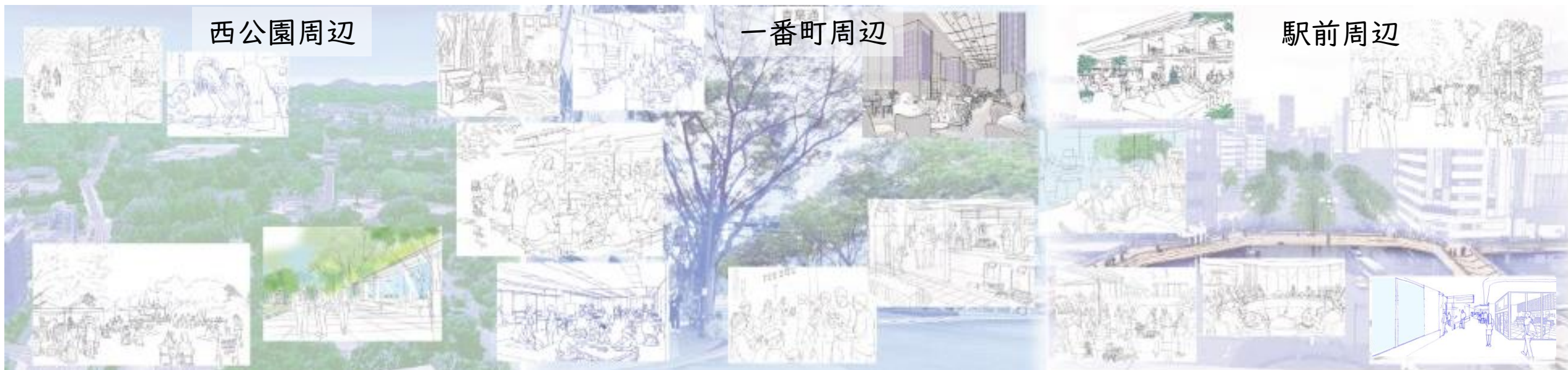
杜の都の玄関口として、
ひとを迎え入れ、
青葉通の奥へと送り出すエリア

5. 情景イラストのとりまとめイメージ案

【情景イラストの目的】

- まちづくりのコンセプト、目指す将来像を共有し、共感を高めることを目的とする
- 目指す将来像が実現した際の、情景（人々の活動、目指す空間像）をイラストとして提示する

【イラストとりまとめイメージ】



— 暮らし — 市民活動 — 商業 — 観光 — ビジネス — ゲートウェイ —

- 青葉通エリア全体としての一貫性を強調するため、背景に「ひとの活動をつなぐ背骨」である青葉通を淡く描く
- 小エリアの個性と目指す情景はグラデーションがあるため、エリアの区分を明確にしない表現とする

多様な活動を示す複数のシーンイラストを重ね合わせ、「エリア全体を一つのイラスト」とする

6. 目指す情景イラスト案

情景イラスト案は資料3をご覧ください

7. 今後の進め方

R7年度末までに、エリア関係者と、コンセプト案とイラスト案について意見交換を行いました

3月23日（月） 青葉通まちづくり協議会

3月24日（火） 検討WG

3月31日（火） 青葉通駅前エリアのあり方検討協議会

意見交換内容を踏まえ、コンセプト案と情景イラストを修正し、フォーラムにて情報発信を予定。

4月16日（木） 第2回青葉通エリアフォーラム（予定）
コンセプト案とイラストについて情報発信

→資料4 チラシをご覧ください